

有磨学区まちづくり推進委員会

委員長 江草 和広

（問合せ先） 084-958-3849（有磨公民館）

事業内容

- (1) 魅力ある地域づくり事業
 平和学習&日本の歴史を学ぶ
 竹原市『大久野島（毒ガス資料館）』『竹原町並み保存地区』
 （11月28日）
 人権平和パネル展：テーマ『地図から消された島・大久野島』
 （10月28日）
- (2) 健康・生きがい・支えあい事業
 そとまちロードウォーキング
 竹原町並み保存地区（11月28日）
- (3) 地域ぐるみの生活安全・環境事業
 高齢者交通安全教室
 （12月7日）
 環境ポスター作成・学区内掲示
 学区内ごみステーション（2月）
 芦田大谷砂留整備作業
 （11～3月）
- (4) つなぐ心・人・地域交流事業
 作品展
 （10月28日）
- (5) 広報誌発行事業 年3回 有磨公民館
- (6) コミュニティ育成事業
 地域一斉清掃・地域交流行事など 通年
- (7) まちづくり推進委員会運営事業 通年
 善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰 選挙啓発

毒ガス資料館



交通安全教室



人権平和パネル展



作品展



そとまちウォーキング

成果

協働のまちづくりの推進の向け、新型コロナウイルス感染防止対策を行うことで安全を確保しながら、行事の規模を縮小したり内容を変更するなど、適宜工夫して実施することができた。

課題

高齢者の割合が高い地域なので、感染リスクを考えて行事内容や規模を変更せざるをえなかった。また、近年は各団体役員の高齢化や担い手不足も課題になっている。

課題解決にむけて

コロナ禍を踏まえた“新しい日常”のなか、地域のニーズに応えられるように、関係機関や各種団体との連携を図り、幅広い世代の活動の活性化と人材（担い手）の育成に取り組んでいく必要がある。

地域ぐるみの生活安全・環境事業

芦田大谷砂留整備

「地域まちづくり計画推進事業」として2017年より整備をはじめました。現在は地域まちづくり推進事業の「地域ぐるみの生活安全・環境事業」として、自治会連合会、芦田大谷砂留を守る会（ボランティア）とまちづくり推進委員会の部会のメンバーで、整備保全活動を行っています。

今年度は、5月9日に「現地研修会」を開催。岡山大学准教授の樋口先生を迎え、6番砂留をを実際に見学し、砂留の構造などを学習しました。

本格的な整備作業は、11月7日（日）から3月13日（日）までの毎週日曜日の午前中に行う予定でしたが、年末から年明けの新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、1月からは予定どおりに実施することができませんでした。そんな悪条件の中でも、有志の方々が少人数で整備作業をコツコツと進めてくださり、1番～4番砂留、6番砂留の草刈と焼却作業、側道にかかる木の伐採、落ち葉や落石の撤去など整備ができ、来年度へと繋がりました。

また側道から直ぐに行くことのできる3、4、6番砂留は、側道沿いに看板を設置…砂留への昇降口がわかりやすくなりました。



① 現地研修会



② 整備作業



③ 集合写真

『新規砂留の調査』 継続中！

今年度も通常の整備作業に加えて、新規砂留の調査が12月より始まりました。

岡山大学准教授の樋口先生と調査を進めたところ、2022年3月末現在で新たに52基の砂留が発見確認され、昨年度からの調査で合計257基となりました。



④ 調査のようす